

A collage of various scenes from a WELgee event. The top left shows a group of people seated in a room, possibly during a presentation. The top center features a close-up of people interacting, with one person holding a baby. The top right depicts a large, modern interior space with people moving around. The middle left shows a man in a suit talking to a woman. The middle right shows a table laden with food and drinks. The bottom left shows a woman speaking into a microphone. The bottom center shows a group of people seated at a table, engaged in conversation. The bottom right shows a man in a suit talking to a woman.

WELgee活動報告会2024

皆さんと振り返る2023-2024年 Annual Report

国際社会情勢と日本における「難民」を取り巻く環境の変化

国際社会情勢の変化

- 紛争や迫害により故郷を追われる人は世界で約1億1,730万人（UNHCR、2023年末）
 - ロシア軍のウクライナ侵攻は終わりが見えず、タリバン政権からのアフガニスタン退避者
 - ミャンマー、パレスチナ、アフリカ諸国で長引く紛争や戦闘、政治的混乱
 - 気候変動の影響による強制移住の危機、避難民増加なども見込まれている、地政学的リスク
- 受け入れ国の葛藤と試行錯誤
 - 受け入れ国の限られた能力、アフリカや中東諸国の紛争、シリアやアフガニスタンの難民増

日本でも増えている「難民」

- 難民申請者のみならず、多様化する在留資格
 - 補完的保護：ウクライナ、緊急避難措置：シリア/ミャンマー/スーダン
 - アフガニスタン退避者の難民認定（237人/303人、2023年）
- どんな法的地位だとしても、日本社会での人生再建のための就労のニーズは増加するが、難民 - 企業間のコーディネーション機能が日本には限られている
- 日本政府としても、社会統合/社会包摂に関しては模索と試行錯誤。

WELgeeの変化 2022⇒2023 ~組織基盤~

有給で関わるメンバー数

14名 ⇒ **17名**

関わるプロボノ数
(個人・団体)

54名 ⇒ **86名**

受取寄付金

2,360万円
⇒ **2103万円**

収益

4,881万円
⇒ **5321万円**



個人も企業も
共に成長・変容する



難民人材の就労/活躍実績

就労継続率 70% 以上!

2017.09 ~ 2024.10 現在

キャリア伴走により就労に繋がったケース41件 (うち在留資格変更 13件)



アフガンの青年が
プログラミング技術
をゼロから習得し
IT系スタートアップ
に就職



西アフリカの青年が
大手バイクメーカー
新規事業開発部の
アフリカ事業チーム
に参画



東アフリカ出身
元銀行員がフードテ
ックベンチャーの
HRチームに就職



中部アフリカ出身
プログラマーが
IT系ベンチャーの
開発チームに就職

スキルを活かした就労活躍実績



上場企業からベンチャーなど、様々な企業規模や業界で難民人材が活躍しています。



採用後の波及効果

(01)

イノベーション創出

道を切り拓いてきた
異文化人材との価値創造

アフリカ・中東・ヨーロッパでのビジネス経験や多言語力、異なる視点、逆境の中で道を切り拓いてきたタフネスを活かして海外展開や新規事業開発等イノベーション創出を促進。

(02)

社員の意識変革

社内のダイバーシティ推進
チームの活性化に貢献

人材の熱意や異なる視点が、社員に刺激や新たな気づきをもたらし、チーム全体や、社員のグローバル感覚や異文化適応力、コミュニケーション力を養う。

(03)

企業価値の向上

企業理念や価値観の
社内外への発信

「ビジネスと人権」や「最先端のDEI推進施策」として注目される難民人材採用。事例が大手キー局等で注目されることで企業価値が向上し、採用広報や社内のインナーブランディングに寄与します。

WELgeeの変化 ~育成事業のプログラム成長~

育成事業部
マネージャー
成田 茉央



育成事業は、インターナショナルズの個性を輝かせ、彼らのポテンシャルを最大限に引き出すことを目指しています。在留資格やニーズの多様化に伴い、より一人ひとりと密に向き合った一年でした。今年度は新たに「Career Training Program」や日本語力向上のための「日本語研修」を実施。さらには、メンターシッププログラムの一貫として「模擬面接」を新設し、プログラムを強化しました。

Career Training Program



43名が参加！

来日したインターナショナルズにとって、日本特有の就職活動文化（人柄採用、転職エージェントの利用など）への適応は難しい課題です。日本で暮らし働いてきた人からすると当たり前の文化でも、まったく違う文化や仕事観の中から来た方々からすると、時間をかけて理解をする必要があります。本年度より、そのような日本での就職のための基礎知識をインプットするプログラムを開始しました。

社会人プロボノとのペア！

メンターシップ



29ペアに伴走！

インターナショナルズ（メンティ）とプロボノ（メンター）がペアとなり、3カ月間の実践的な就職活動を行います。自己分析、履歴書作成、面接練習を通じて、就職文化の違いを身をもって学んだ後、就労伴走事業部のステップへと進みます。プログラム後も、良きパートナーや相談相手として関係を続けるペアも多くいます。本年度は29ペアが就職活動を行いました。

メンターシッププログラム

育成事業部

Point!

WELgee との
初回面談

Point!

メンターシッププログラム (3か月)



Point!

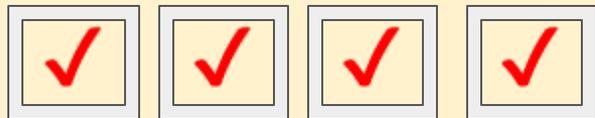
日本語研修



Your career /
life goal!!

Point!

キャリアトレーニング プログラム (1か月)



Career 3workshops

Sempai session

ホワイトカラーの就労

WELgee Talentsのリスト情報に乗る

WELgee Talents

就労伴走
事業部
「WELgee
Talents」

WELgeeの変化 ~就労伴走事業の拡大~

就労伴走事業では、インターナショナルズを、企業の事業や組織にポジティブな変化をもたらす「人材」として企業様に提案し、新規採用ポジションづくり、人材とポジションのコーディネーション、お試し雇用、定着まで一貫してサポートする「WELgee Talents」の運営を行っています。2023年度は25名のインターナショナルズを33回企業様に推薦し、6件のお試し雇用やパートタイム雇用、6件の正社員雇用が実現しました。また4名の在留資格が「技術・人文知識・国際業務」に変更され、1名が配偶者を日本へ呼び寄せることに成功しました。

お試し雇用や
パートタイム雇用

6 件

正社員雇用

6 件

在留資格変更

4 名



連携事例

CASE
02

アジア福祉教育財団 難民事業本部 (RHQ) × WELgee

アジア福祉教育財団難民事業本部 (RHQ) と難民の就労支援に関する協力覚書を締結しました。

RHQは日本政府の委託を受けて、条約難民（難民認定者）と第三国定住難民を対象に、定住支援プログラムを実施しています。日本でも難民認定者数が少しずつ増加してきたこと、そのうち過半数が学歴や職歴をもつアフガニスタン難民であること、より安定的に家計を支え、これまでのキャリアを活かせる仕事にステップアップしたいというニーズがある等の現状を踏まえ、WELgeeでは希望する方々に対して、これまで培ってきた知見やプログラム、企業ネットワークを活かして伴走していきます。



「難民」のイメージに変革を

WELgee Talents リブランディング

「世界の難民と、世界へ挑む。」難民人材紹介コーディネーションサービスを全面リブランディング！



難民人材の価値やサービスの提供価値、日本企業における難民の採用の意義を言語化し、難民人材採用の事例を増やすために、難民人材採用コーディネーションのリブランディングを行いました。精鋭クリエイターとともに、6か月間かけてサービス名やタグライン、キービジュアルを撮影しました。彼らの多くが母国で命の危険に直面しても人生を諦めず、未知の国に飛び込んで人生を再建しようという勇気と情熱があり、一人ひとりが独自の経験と志を持っている「Talent (タレント)」であるという強い思いから、「WELgee Talents」という新しいサービス名になり

ました。また難民人材とともに海外事業展開や、グローバルなチームづくりに挑戦する企業様が増えている中で、企業様の世界に向けた挑戦と、難民人材の日本におけるキャリアへの挑戦を重ね合わせ、企業様・難民人材双方に価値のあるコーディネーションを行うという決意を込めて「世界の難民と、世界へ挑む。」というタグラインを策定しました。

WELgeeの思いがこもったサービスサイトをぜひご覧ください。(URL:<https://welgee-talents.jp/>)



産業界との協働へ新たなステップ

難民人材活躍プラットフォーム

「共助資本主義」の実現を目指し、経済界と協働

日本経済が活力を取り戻し持続的成長を実現するモデルとして、経済同友会から「共助資本主義」が提唱され、その実現を目指して、インパクトスタートアップ協会、新公益連盟も関わる形で、ソーシャルセクターとビジネスセクターの協働を通し、様々な領域における社会課題の解決を目指すプロジェクトが開始しました。まだ立ち上がり期ではありますが、「難民人材活躍プラットフォーム」もその1つです。

採用にとどまらない難民活躍を後押しする企業のアクションが日本でも加速・拡大することを目指し、WELgeeがコーディネーションする形で立ち上げられました。この取り組みは、国連総会で採択された「難民に関するグローバル・コンパクト」の理念に基づき、第2回グローバル難民フォーラム（2023年12月開催）に向けての「宣言（Pledge）」としても登録されています。

異業種企業による難民人材活躍に向けたクリエイティブな探究と実践を盛り上げていく契機にしていきます。



Refugee Career Demo-Day 2023

協賛 13 社、56 名のビジネスリーダーと、インターナショナルズ 20 名が交流



日本に逃れた難民たちが、日本企業のビジネスリーダーとの交流を通して、今後の日本でのキャリアを描き、就職活動に踏み出すきっかけとなる「Refugee Career Demo-Day 2023」を開催しました。セブン-イレブン・ジャパン様や商船三井様など、各業界を牽引する企業13社からの協賛、新経済連盟の後援の元、多様な業界・業種の40社、56名のビジネスリーダーと、インターナショナルズ20名が交流する機会になりました。イベントでは難民人材として活躍する先輩や採用企業の声を聞くパネルディスカッションや、各グループに分かれてのディスカッションを実施。

日本企業・難民当事者双方の視点から、難民人材採用を通じた日本企業の組織の変化について、白熱した議論が行われました。企業参加者からは、「こんなダイバーシティ体験はなかなかない。実際に日本で働いているインターナショナルズのリアルな葛藤や喜びの声を聞くことができた」という声が、インターナショナルズからは「日本企業で働く経験を知ることができ、私の経験を伝えることができました(20代・アフガニスタン出身・女性)」という声が出ました。企業・インターナショナルズ双方にとって共に働く未来を想像できる機会となりました。

たくさんの方々に支えていただきました

2023年度は、32法人・87名の個人からの単発での寄付ならびに協賛を賜りました。皆さまからの継続したご支援により、一人ひとりのインターナショナルズの育成機会や就労機会を提供することができました。

法人寄付

thejapantimes

brother

nikko am
Nikko Asset Management

ISEKI 井関産業株式会社



PERSOL

三菱マテリアル

Daiwa House
大和ハウスグループ

人と地域と未来に“やさしい”
西武信用金庫

一般財団法人 世界聖典普及協会・株式会社イオンテクノセンター・株式会社GEAR・株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント
行政書士明るい総合法務事務所・日本郵船株式会社・Yokohama Christ Church 等

WELgee family! たくさんの方々に支えていただきました

WELgee
ファミリー

537 名
22 社

2023年度は537名、22社のWELgeeファミリーの方々に支えていただきました。

「素晴らしい取り組みに心より感服しています。」「少子高齢化が進み、労働力人口が減少する日本にとっては日本に逃れてきた難民の働き口を探すことは非常に重要と考えます。」「未長く伴走できたらと思っています。応援しています。」など、WELgeeファミリーの皆さまからは、ご寄付と共に様々なメッセージをいただいております、WELgeeの活力となっています。

個人からの単発寄付

三木谷 晴子さま、矢幡 ミツギさま など87名の皆さま

WELgeeファミリーになって 「難民の若者たちの未来」を支えますか？



紛争・差別・迫害などから逃れ日本にやってくる「難民」と呼ばれる人たちがいます。希望をかけて逃れてきた先の日本でも追い込まれ「自分は役に立たない人間だ」と可能性を閉ざしている人たちがいるのが現状です。実は彼らは将来的な故郷の担い手たちです。そんな若者たちの直面する壁を崩し、未来に投資するマンスリーサポーターになりませんか？

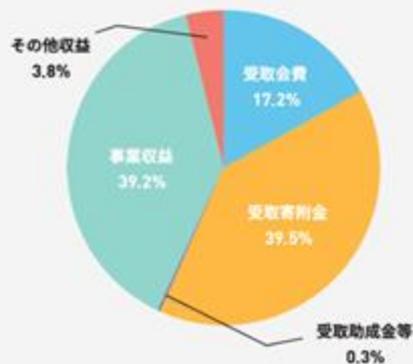
1日30円~



財務報告・ガバナンスパート

経常収益内訳3期比較

収入の部 収入 5,321 万円

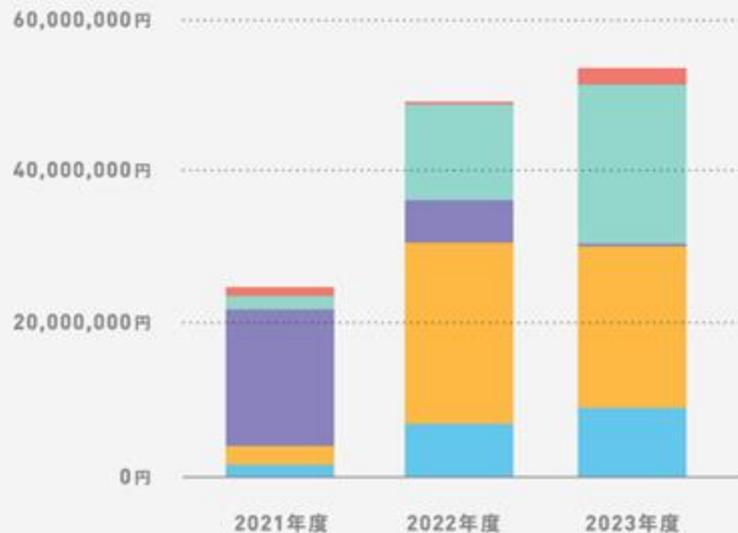


支出の部 支出 4,846 万円



経常収益内枠 3期比較

■ その他収益 ■ 事業収益 ■ 受取助成金等 ■ 受取寄附金 ■ 受取会費



世界情勢の変化とそれによる事業ニーズの高まりを受け、職業紹介による事業収益の増加や法人・個人の皆さまからのご寄付が増えたことにより、3期連続で収益を拡大させることができました。皆さまの温かいご支援により、社会の変化や難民の方々のニーズに応える形での事業・組織の拡大ができていくことを心より感謝申し上げます。

2023年度の財務報告

単位：円

		22年度	23年度
経常収益	受取会費	7,039,397	9,151,916
	受取寄附金	23,608,827	21,035,546
	受取助成金等	5,414,000	147,900
	事業収益	12,420,738	20,846,050
	その他収益	327,198	2,033,752
経常収益 合計		48,810,160	53,215,164
経常費用	事業費		
	人件費	14,500,321	23,410,781
	業務委託費	1,990,860	6,626,064
	その他	5,902,375	5,687,699
	事業費計	22,393,556	35,724,544
	管理費		
	人件費	3,096,261	4,961,442
業務委託費	1,023,137	5,858,600	
その他	964,106	1,920,039	
管理費計	5,083,504	12,740,081	
経常費用 合計		27,477,060	48,464,625
当期経常増減額		21,333,100	4,750,539
経常外収益計		0	0
経常外費用計		0	1,666,487
税引前当期経常増減額		21,333,100	3,084,052
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000
当期正味財産増減額		21,263,100	3,014,052
前期繰越正味財産額		25,259,917	46,523,017
次期繰越正味財産額		46,523,017	49,537,069

537名、22社からのWELgeeファミリー（継続寄付）を含みます。（詳しくはp12!）

事業拡大に伴い、就労伴走を担うキャリアコーディネーター3名、育成事業プロジェクトコーディネータ1名、PR担当フルタイムスタッフ1名を新たに採用しました。

主軸事業である就労伴走事業のサービスリブランディングにかかるコンサルティング費用やサービスページのデザイン制作委託費用等が含まれています。このリブランディングプロジェクトにより、「JobCopass」が「WELgee Talents」としてリニューアルされました！

旅費交通費・会議費などを含みます。詳しくはWEBサイトよりご確認ください。

システム利用料などを含みます。詳しくはWEBサイトよりご確認ください。

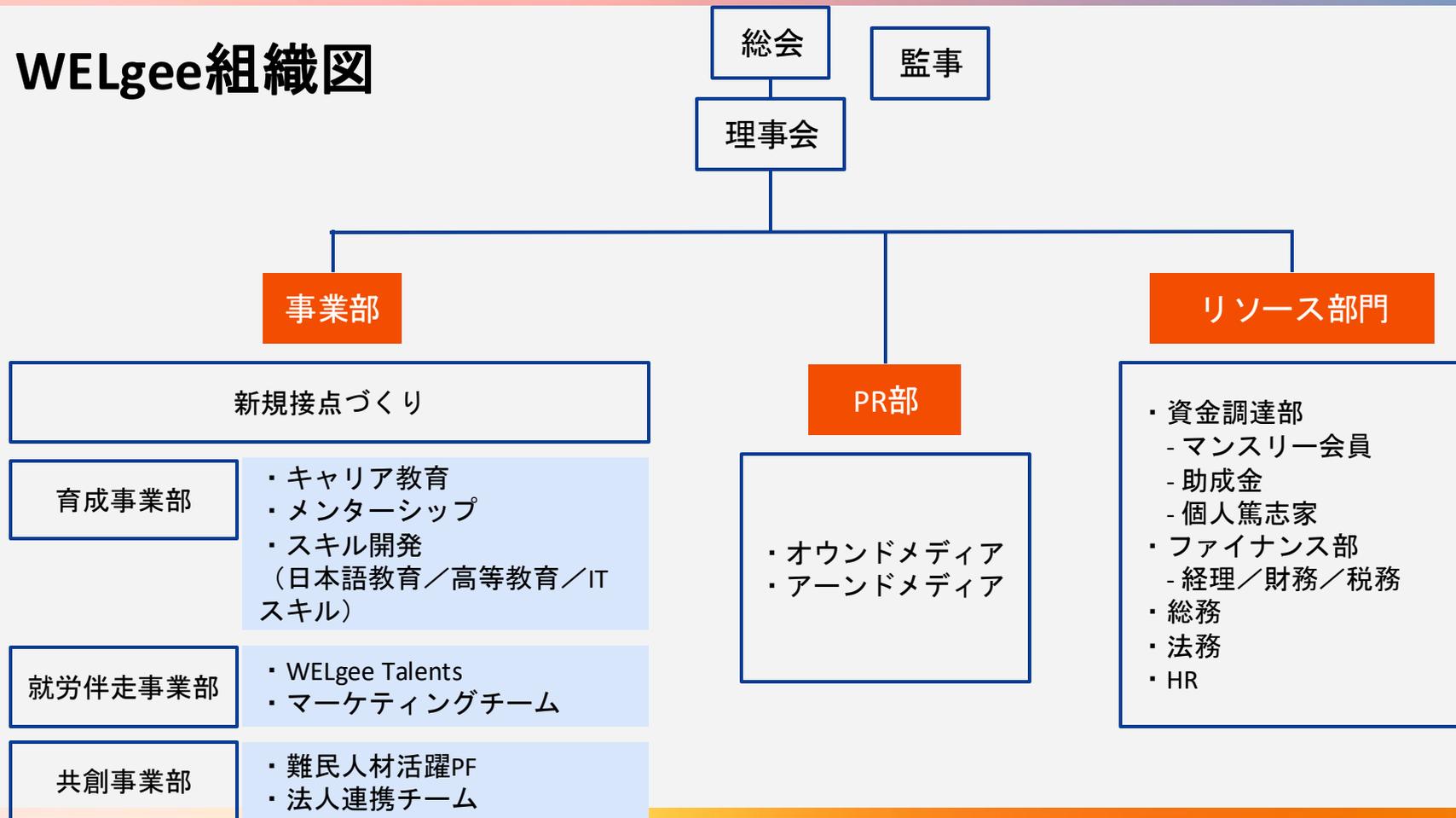
昨年度に採択された助成事業での助成金未使用分の返金等が含まれています。

会計報告の詳細はWEBサイトよりご覧いただけます。

右のQRコードからご確認ください。



WELgee組織図



内部理事

渡部カンコロンゴ 清花



代表・ファウンダー

静岡県浜松市出身。様々な背景を持つ子ども・若者が出入りする実家で育つ。大学時代は Bangladesh の紛争地にて NGO の駐在員・国連開発計画(UNDP) インターンとして平和構築プロジェクトに参加。国家が守らない、守れない人たちの存在を目の当たりにして帰国。2016年に日本に逃れてきた難民の仲間たちと WELgee を設立。グローバル・コンソーシアム INCO 主催「Woman Entrepreneur of the Year Award 2018」グランプリ、Forbes 30 under 30 of Japan / Asia 選出。東京大学大学院 総合文化研究科・人間の安全保障プログラム 修士課程修了。

山本 菜奈



事業総括・理事

1994年横浜生まれ。小中高を米国で過ごし、17歳の頃ネパールで山岳民族の高校生たちと交流し、逆境の中で未来を切り拓こうとする熱量に衝撃を受ける。早稲田大学国際教養学部と留学先のカナダ・バンクーバーでは、エスニシティ・ジェンダー・セクシュアリティ・国籍などによる差別や格差が積み合う中で、人がどう自分らしく生き、社会も変わりうるかを学ぶ。北海道・下川町で一年間まちづくりに携わり、2017年夏から WELgee にて「難民」の若者たちと日本企業の化学反応から、社会に新たな価値をもたらす「就労」の仕掛けづくりに奔走！好物はコーヒー・ビール・日本酒の三輪子。

渡辺 早希



リソース部門総括・理事

1997年生まれ。母語は津軽弁。宇都宮大学国際学部卒業。初海外で訪れたヨルダンで難民と出会う。その後、韓国濟州島でのイェメン人難民との関わりから、社会との「繋がり」や「居場所」を創出することの大切さを実感し、2019年夏より WELgee サロン事業部にインターンとして参加。2020年4月、リソース部門総括に就任。2022年9月より理事に就任。

監事・外部理事

井上 智映子（監事）



所属

株式会社グロービス
グロービス経営大学院教員

経歴

大学卒業後、外資系通信会社にIRに従事し、大型M&A案件の投資家対応を経験。その後、メガバンクに入行し、本店審査部にて東南アジアの非日系事業会社への融資案件等の審査、東アジア・東南アジア・欧州地域の金融機関向け取引の審査、与信管理業務を行う。再生可能エネルギー関連のベンチャー企業の資金調達担当を経て、グロービスに入社。グロービスでは、アカウンティング領域のカリキュラム・コンテンツ開発および講師の採用・育成等を担当。

東樹 敏明（監事）



所属：株式会社グロービス

経歴

慶応義塾大学経済学部経営学科卒業。法政大学大学院政策創造研究科修了。大学卒業後、国際電信電話株式会社（現KDDI株式会社）に入社。法人企業・個人向け営業に従事した後、海外現地法人に出向し新規事業の立上げに参画。本社帰国後は、海外現地法人の業績管理及び事業戦略立案を担当。その後、ベンチャー企業を経て、株式会社グロービス入社。入社後は、eラーニングのプロダクト担当を経た後、人材育成・組織開発プロジェクトの企画・設計・コンサルティング業務に従事。加えて、アカウンティング領域におけるコンテンツ開発／講師育成を担う。

安齋 耀太（外部理事）



所属：株式会社グロービス

経歴

慶応義塾大学経済学部経営学科卒業。法政大学大学院政策創造研究科修了。大学卒業後、国際電信電話株式会社（現KDDI株式会社）に入社。法人企業・個人向け営業に従事した後、海外現地法人に出向し新規事業の立上げに参画。本社帰国後は、海外現地法人の業績管理及び事業戦略立案を担当。その後、ベンチャー企業を経て、株式会社グロービス入社。入社後は、eラーニングのプロダクト担当を経た後、人材育成・組織開発プロジェクトの企画・設計・コンサルティング業務に従事。加えて、アカウンティング領域におけるコンテンツ開発／講師育成を担う。

Team WELgee

職員の他に、ビジネスセクターからの出向社員やプロボノ活動なども多く受け入れています。

フルタイム職員

代表理事
ファウンダー

渡部 カンコロンゴ 清花



フルタイム職員

育成事業部
プロジェクトコーディネーター

成田 茉央



フルタイム職員

事業統括
理事

山本 菜奈



顧問行政書士

行政書士
明るい法律事務所

長岡 由剛



フルタイム職員

リソース部門統括
理事

渡辺 早希



フルタイム職員

エンゲージメント推進部
メンバー

加藤 冬華



外部理事

株式会社
エス・エム・エス

安齋 耀太



フルタイム職員

就労伴走事業部
メンバー

高橋 明



パートタイム職員

就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

坂下 裕基



パートタイム職員

就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

金城 遥



監事

株式会社グロービス

東樹 敏明



パートタイム職員

就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

圓山 佐登子



パートタイム職員

就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

寺阪 ゆう子



監事

株式会社グロービス

井上 智映子



+ プロボノ80名
学生インターン5名